

# 国語

国語を学ぶことで何を身につけるのか？

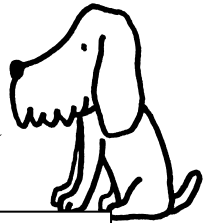


国語って、何をどう勉強したらいいんですか？  
中学の時は、勉強しなくても、それなりに良かったんですけどー  
国語って勉強する必要あるんですか？

確かに中学まではそれでなんとかなってきたかもしれませんが、高校の国語はそれでは通用しません。高校は、これからの自分の方向性を決めると同時に、一生、社会に出て通用するような知識と学び方を身につけるための場所です。国語に関しても「文章に出会ったとき、どこにどのように目をつけるのか」「人に何かを伝えたいとき、何をどう表現すればよいのか」という論理的な方法を身につけることを意識してください。

また、古典の本格的な学習も始まります。スタートを大切に、少しずつ着実に力をつけていってください。一生つきあっていく言葉を確実に自分のものにしましょう。

中学校までの国語と高等学校での国語の違い



高校では「現代文」「古文」「漢文」の三つの領域に分けて学習を行います。

中学校までは、先生の板書をノートに取り、それを暗記していく学習が主体であったと思います。高等学校の国語でも、授業でノートを取ることは必要なことですが、さらに重要なことは、自らの力で文章を読み、感じ取り、考え、判断して自分の考えを持つということです。与えられるものを受身的に覚えるというのではなく、積極的に文章に接し、心を耕し、世界を広げ、変貌していく自分を生き生きと表現していくことが大切です。

いわば、生きていく力に直結するのが国語の学習ですが、そうした学習が将来の基礎をつくるのは言うまでもありません。

## 学習の方法について

現代文

### 《家庭学習》

- 教科書の本文中の意味のわからない語句について、辞書を引いて確認する。
- 毎週実施する「漢字テスト」に向けて、ノートに書いて練習する。
- 副教材の問題集に週末ごとに取り組む。
  - ・1題に20分程度かけて解答してから、答え合わせをする。その際に「解説」を熟読し、本文に書かれている内容について「納得」をする。
  - ・テスト前にテスト範囲の文章をもう一度読み、内容が「理解」できているか確認する

### 《授業》

- 授業に集中し、授業での展開が自分なりの読後感・判断とどのように違うのか、または同じなのか考える。また、「なぜ？」「どうして？」と問い直す姿勢で文章に接することが大切。

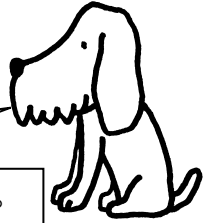
## 《日々の生活の中で...》

新聞ではマンガとスポーツ欄、テレビ欄を点検するだけでなく、コラムや社会面、さらには社説なども読んでみよう。世の中の意外な動きが伝わってくる。また、読書生活を豊かにする。図書館に足を運ぶのがもっとも手軽な一歩である。あるいは、リーズナブルで持ち運びに便利な文庫本を買ってみるのも良いし、スマホのアプリで電子書籍を読むのも悪くない。

今後、「書く力」を求められることが多くなるが、よりよく「書く」ためにはよりよく「読む力」や「語彙力」が不可欠。「毎日少し」でかまわないので、出来ることからはじめてみよう。

### 古文

予習—授業—復習 という学習のサイクルをしっかりと作り上げることが肝心。辞書を引き、ノートを作るという作業をコツコツとやりぬこう。



### 《予習》

- ①本文を音読し、ノートに書き写す。
- ②わからない古語の意味を古語辞典で調べて書き写す。
- ③できる範囲で現代語訳する。(脚注に書かれている現代語訳は書き写しておく)

### 《授業》

- ①自分の理解が正しいかどうか確認し、予習ではわからなかったところを理解するようにする。
- ②疑問が残る場合は先生に質問し、不明のままにしておかない。
- ③辞書、文法のテキストは必ず常備し、活用する。

### 《復習》

- ①授業で出てきた重要語句・文法事項を覚え、身につける。なるべく早い機会に復習する。
- ②繰り返し音読する。くっきりはっきり声に出して読む。

訳は覚え暗記するものではない。基本的古語、文法事項を理解した上で自分で組み立てるもの。

### 漢文

※古文同様、予習—授業—復習 という学習のサイクルをしっかりと作り上げる

### 《予習》

- ①本文をノートに白文(漢字のみ)で書き写す。
- ②本文を書き下し文にする。

### 《授業》

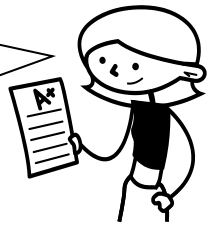
- ①音読のしかたを確認し練習する。
- ②重要句形を理解し、本文の解釈を確認する。
- ③句法(句形)のテキストを常備し活用する。

### 《復習》

繰り返し音読し、白文に訓点をつけられるまでにする。

訳は暗記するものではない。古文と同様に漢字の意味、句形の法則を理解した上で自分で組み立てるもの。

高校の国語って、実は1年の1学期がとても大切。特に古典。私は、その時期にノートをしっかり作って予習を頑張りました。古典文法がわかってきた夏休み明けには、予習でつけた現代語訳があっという間にもうれしかった。基礎を身につけたためか、受験を意識するようになって、あまりあわてずにすみました。



今まで、国語なんて勉強しなくても点数とれた。でも、予習しなかったら、大変なことになっちゃったよ…… 古典文法もなんとかなるって思ったけどさ

### 古典分野学力向上の秘訣

1. 音読をしっかりとすること
2. 辞書をたくさん引くこと
3. いいノートを作ること

〈ノート作りのおすすめ例〉

<p>左側に現代語訳、赤ペン等使うと見やすい本文とずれないように、本文の真横に記入簡単な所は省略、すべて書く必要なし</p>	<p>着ていない そのまま家の中にいた。</p>	<p>打消 衣着ぬ妻なども、さながら内にありけり。</p>	<p>……人の書かする仏もおはしけり。 人が注文して書かせた仏様もいらつしやった。</p>	<p>使役 サ変連用</p>	<p>から火事が起こり、風が覆いかぶさるよう吹いて、火が追ってきたので、</p>	<p>カ変連用 マ下二連用</p>	<p>の隣より火出で来て、風おし覆ひて責めければ、</p>	<p>これも今は昔、絵仏師良秀といふありけり。家 男がいた。 過去</p>	<p>絵仏師良秀 宇治拾遺物語 鎌倉時代の説話集</p>	<p>本文書き写す2~3行間隔、大きめの字で</p>	<p>右側に文法事項授業が進むとだんだん書き込めるようになる</p>
<p>訳以外の内容の整理等、授業時にノートするためにあけておく</p>	<p>あし 悪い</p>	<p>わろし よくない</p>	<p>あさまし 驚きあきれるばかりだ</p>	<p>さながら そのまま</p>	<p>おはす いらつしやる</p>	<p>語句調べ 予習時に辞書で調べて書いておく</p>					